

ご意見	件数	市の考え方（案）
福祉の家へのアクセス継続の要望	26	福祉の家へのアクセスは、新たに導入するデマンド型交通で継続していきます。例えば、市役所や古戦場駅等までN-バスでお越し頂き、そこからデマンド型交通に乗継いで福祉の家にアクセスできます。乗り継ぎの必要があること等周知をしていきます。
増便の要望	24	ルート再編による、車両の集約化や行程（旅程）の効率化（1行程を60分程度とする）を図ることで、1時間に1便程度への増便を目指します。（現在の中央線・西部線が平日最大7便⇒再編後は平日8～10便見込み） 今後（将来に渡って）の増便維持やさらなる増便に向けて、継続的な利用促進が不可欠となります。
藤が丘へのアクセス継続の要望	24	西部線（左回り・長久手古戦場駅行き）の一部の便で、引き続き藤が丘バス停等にアクセス（10時～16時の時間帯で3便程度）することとします。
日曜日・祝日の運休に反対する意見	23	日曜日は利用実態として平日と比べ乗車人数が少ないことと、市の財政状況を踏まえながら、補助交通として市民の日常生活における通院、通勤、通学、買い物などの移動について、合理的かつ効率的なルート、ダイヤ設定により支える目的からも、趣味、娯楽などでの利用が中心と考えられる日曜日・祝日を運休とします。
個別のルート設定の要望	18	補助交通として、基幹交通（リニモ、名鉄バス）と調和を図るとともに、行程の効率化及び市内公共交通空白をできる限り抑制するためのルートを設定します。 なお、三ヶ峯線のN-バス利用児童に関するルートは教育委員会と協議・検討したルートを設定します。
個別のバス停設置・移動の要望	14	補助交通として、基幹交通（リニモ、名鉄バス）と調和を図るとともに、行程の効率化、既存バス停の利用実態（利用者数やOD状況など）及び市内公共交通空白を考慮し、バス停を配置します。 ＊バス停設置要望…藤が丘、下山、杵木、菖蒲池、南小学校、砂子、喜婦嶽など
現状継続の要望	12	市内公共交通全体のサービスレベルの向上や持続性の確保を図ることを目的に再編に取り組みますが、現在のN-バス運行において利用率の高いバス停は継続すること等を検討しています。
市役所へのアクセス継続の要望	12	市西部地域では、引き続き市役所を起終点の一つとしていますのでN-バスによるアクセスを継続します。 市東部地域では、新たに導入するデマンド型交通において引き続き市役所へのアクセスを継続します。 三ヶ峯エリアでは、乗継が必要になりますが、公園西駅から新たに導入するデマンド型交通において市役所へのアクセスを継続します。
運賃値上げに反対する意見	8	公共交通の運賃バランスや受益者負担率を考慮し、またサービスレベルの向上を図るとともに、N-バス運行の持続性を確保するため、素案どおり基本運賃の200円への値上げとするものです。
土曜日の運行時間延長の要望	8	土曜日は利用実態として平日と比べ乗車人数が少ないことと、市の財政状況を踏まえながら、補助交通として市民の日常生活における通院、通勤、通学、買い物などの移動について、合理的かつ効率的なルート、ダイヤ設定により支える目的からも、医療機関の土曜日午前中開院を考慮し、土曜日の運行は9:00～15:00とします。
デマンド型交通の利用・予約の周知・不安・改善	8	市東部地域で、新たに導入するデマンド型交通について、令和6年度、令和7年度の状況も踏まえつつ、導入に向けた周知を幅広く展開することで、市の公共交通ネットワークの一部として機能するよう務めていきます。 予約方法は、高齢者の利用等を踏まえ、WEBだけでなく電話での受付も予定します。
ダイヤ設定の要望	6	利用促進（サービスレベル向上）のため、運行行程の効率化、運行便数の増便を図るとともに、引き続き乗継・乗換えの利便性が向上するよう努めます。
75歳以上運賃無料化の継続の要望	6	高齢者の外出促進の一環として、継続します。
乗継利便性の向上の要望・不安	5	運行行程の効率化、運行便数の増便を図るとともに、引き続き乗継・乗換えの利便性が向上するよう努めます。 また、今回の再編では、路線等を大きく見直し、補助交通として役割を担うことから、乗継・乗換の頻度が増えることとなるため、幅広く周知を展開していきます。
東部地域の公共交通に関する意見・提案・要望	4	市東部地域の公共交通ネットワーク改善として、令和6年度、令和7年度の実証実験で補助交通として市民の市内外への移動を支える役割や外出促進効果などが確認できたことから、新たにデマンド型交通を導入するものです（東部線を廃止しデマンド型交通に切り替えます。）。
公共交通空白の改善の要望	4	補助交通として、基幹交通（リニモ、名鉄バス）と調和を図るとともに、行程の効率化、既存バス停の利用状況及び市内公共交通空白地域を考慮し、ルート設定やバス停配置を行います。
デマンド型交通の導入に肯定	4	
運賃値上げに肯定・妥協	3	
デマンド型交通の導入に否定	3	市東部地域の公共交通ネットワーク改善として、令和6年度、令和7年度の実証実験で補助交通として市民の市内外への移動を支える役割や外出促進効果などが確認できたことから、素案どおり新たにデマンド型交通を導入するものです（東部線を廃止しデマンド型交通に切り替えます。）。
フリーパス券・回数券の対象拡大の要望・肯定	3	運賃値上げに合わせ、利用促進として、販売対象者を市内在住を問わず、また全年齢に拡大することとします。
免許返納者への運賃無料に肯定	2	移動弱者に対する外出促進事業として、新たに運賃無料の対象に加えることを想定しています。
運賃値上げの感想	2	公共交通の運賃バランスや受益者負担率を考慮し、またサービスレベルの向上を図るとともに、N-バス運行の持続性を確保するため、素案どおり基本運賃の200円への値上げを想定しています。
N-バス利用児童の拡充の要望	1	N-バスの乗車定員を超過するため困難となります。
藤が丘線廃止に肯定・妥協	1	
目的地までの時間短縮の要望	1	運行行程の効率化（1行程の時間を60分程度とする）を図ることで、目的地までの時間短縮につなげます。
藤が丘線・西部線の統合に否定	1	基幹交通である名鉄バスとの路線重複を整理する目的で取り組みますが、名鉄バスの運行が少ない10時～16時の時間帯で3便程度（左回り・長久手古戦場駅行き）は、引き続き藤が丘バス停等にアクセスすることとします。
愛知医大へのアクセス性の向上の要望	1	中央線及び西部線、新たに東部地域で導入するデマンド型交通において、愛知医大にバス停（停留所）を設置し、引き続きアクセスすることを想定しています。
全体におおむね肯定	1	
日曜日・祝日の運休に肯定	1	
三ヶ峯線存続の要望	1	三ヶ峯線は引き続き、公園西駅を起終点として運行します。
その他	35	